

REX

切断機

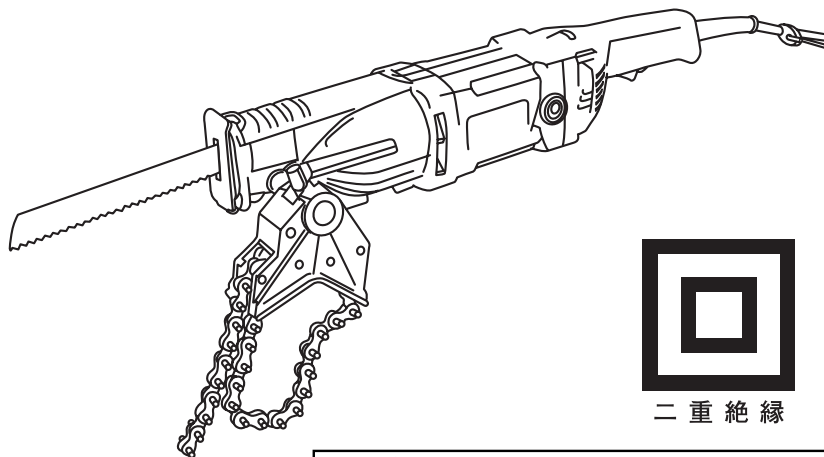
50/60Hz

ハイパーソー150S

XS 150S

取扱説明書

チェーンバイス付



二重絶縁



**ご使用前に必ず
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書はお使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月: 年 月

お買上げ店名:

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・この取扱説明書に記載されていること以外の取り扱いをしないでください。

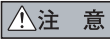
— 目 次 —

安全にご使用いただくために	2
ハイパーソー150S 使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕 様	6
標準付属品	7
別売部品	7
用 途	8
作業前の準備	8
ご使用前に	9
のこ刃の取付け方	9
のこ刃スピードの調整について	11
切 り 方	11
過負荷保護回路について	13
保守・点検	13
修理をご依頼のときは	14

警 告 , 注 意 , の意味について

この取扱説明書では、注意事項を  警 告 と  注 意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

 警 告 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

 注 意 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容をしめします。

なお、「 注 意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

- ・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。
 - ・品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
-



警告

① 使用電源は正しい電圧で使用してください。

- ・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。

② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。

- ・スイッチがONの状態では差し込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。

③ 感電に注意してください。

- ・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
- ・雨中や機械内部に水の入りやすい所では使用しないでください。
- ・アースは必ず接地してください。感電の恐れがあります。

④ 作業場での周囲状況も考慮してください。

- ・雨中、湿った場所、濡れた場所、機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気はモータの絶縁を弱めたり、感電事故のもととなります。
- ・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。

⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。

⑥ 次の場合、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
- ・付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。
プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。

⑦ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。

- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
- ・取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
- ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。

⑧ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。
ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

⑨ 作業関係者以外は近づけないでください。

- ・作業者以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。

⑩ 無理して使用しないでください。

- ・指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
- ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑪ きちんとした服装で作業してください。

- ・ネクタイ、そで口のあいた服、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。着用している衣服のボタン、ファスナーなどはすべて閉めて作業を行ってください。回転部に巻き込まれ重大な事故やケガの原因となります。
- ・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。またマフラーなどを着用して作業を行わないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・作業環境により、保安帽、保護メガネ、安全靴等を着用してください。

安全にご使用いただくために



警告

⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してケガの原因になります。

⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。

- ・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。

⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
- ・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因となります。

⑮ 電源コードは乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
 - ・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のものがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑯ 日頃から注意深く手入れをしてください。

- ・付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には変換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべて、ケガの原因になります。

⑰ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

⑱ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

⑲ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。

- ・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

⑳ 定められた用途以外には使用しないでください。

- ・用途以外に使用すると、事故やケガ、破損などの原因となります。

□ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“□”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、または当社営業所にご用命ください。

ハイパーソー150S 使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハイパーソー150Sとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると、のこ刃（ブレード類）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用中を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃（ブレード類）や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ 可燃性のガスのあるパイプは爆発の恐れがあるので、切断しないでください。
- ⑦ のこ刃（ブレード類）で電源コードを切断しないように注意してください。
感電の原因になります。



注 意

- ① のこ刃（ブレード類）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、のこ刃（ブレード類）や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 作業直後ののこ刃（ブレード類）は高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。

ハイパーソー150S 使用上のご注意

⚠ 注 意

- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑤ 壁や隣接する鋼管の近くで作業する場合は、のこ刃先端が当たらないように距離をあけてください。
のこ刃を折損する恐れがあります。

各部の名称

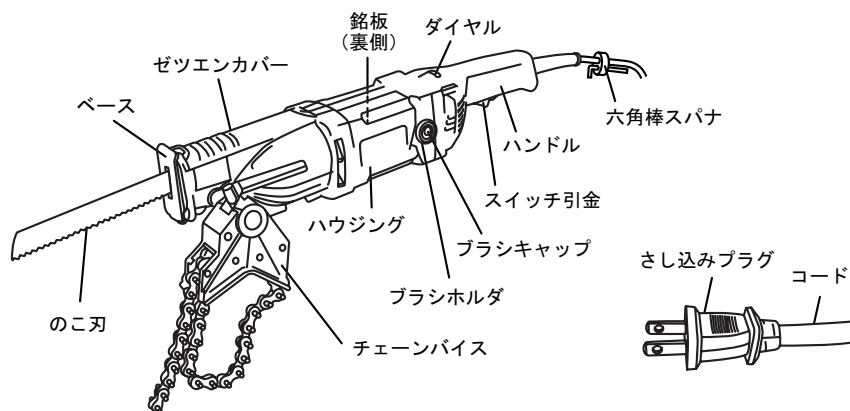


図 1

仕 様

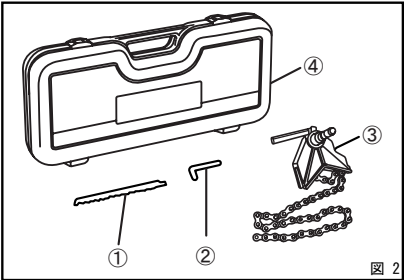
形 式	XS150S
使 用 電 源	単相交流 50/60Hz共用 — 100V
切 断 能 力	鋼管……………外径216mm (200A) ※1
	ステンレス鋼管……………外径140mm (125A) 肉厚3mm以下 ※2
標 準 仕 様	鋼管……………外径165mm (150A)
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
消 費 電 力	12A — 1200W
ス ト ロ ッ ク 量	26mm
無負荷ストローク数	950～2050回／分
質 量	4.0kg

※1 200Aの切断には別売の200A用のこ刃 (No. 24) が必要です。

※2 ステンレス鋼管の切断には別売の薄のこ刃用ブレードホルダと薄のこ刃が必要です。

標準付属品

- ① のこ刃No. 22, No. 23.....各1枚
- ② 六角棒スパナ 4mm1個
- ③ チェーンバイス.....1組
- ④ ケース.....1個



別売部品

(1) 各種のこ刃

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したのこ刃を使うことが大切です。
下表を参照し、加工物に適したのこ刃をご使用ください。

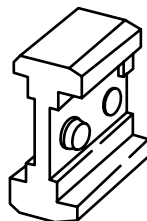
	品番	形式(品名)		適用パイプ径 A (B)	長さ mm	山数 (山/インチ)	厚さ mm	幅 mm	用途	梱包 数量	
薄のこ刃	380041	コブラ ブレード	No. 41	～50 (2)	150	14	0.9	18	鋼管 ステンレス管 軟鋼材	5枚入り (1パック)	
	380042		No. 42	～100 (4)	200	18					
	380045		No. 45	～125 (5)	250						
	380043		No. 43	～50 (2)	150						
	380044	バイメタル ブレード	No. 44	～100 (4)	200	14			鋼管 ステンレス管 軟鋼材		
	380033		No. 33	～50 (2)	150	18					
	380034		No. 34	～125 (5)	225						
	380035		No. 35	～50 (2)	150						
380036	No. 36	～125 (5)	225								
厚のこ刃	380061	コブラ ブレード	No. 61	～80 (3)	200	8	1.6	25	鋼管・鋳鉄管 ステンレス管 軟鋼材	5枚入り (1パック)	
	380062		No. 62	～125 (5)	250						
	380063		No. 63	～150 (6)	300						
	381001	ハイス ブレード	No. 21	～40 (1 ¹ / ₂)	140				10		鋼管・鋳鉄管 軟鋼材
	381002		No. 22	～100 (4)	200						
	381003		No. 23	～150 (6)	290						
	381004		No. 24	～200 (8)	320						
ブレードホルダ	381007	厚のこ刃用 (ハイパーソー150S専用)									
	381009	薄のこ刃用									

※ 鋳鉄管はモルタルライニング無しのものに限りません。

(2) 薄のこ刃用ブレードホルダ

薄のこ刃を使用するときは、本体のブレードホルダと交換して使用します。

10ページの「薄のこ刃を使用する場合」をご覧ください。



用 途

- 各種鋼管、ステンレス鋼管、アングル材の切断
- 各種合成樹脂管の切断
- 軟鋼板、アルミ板の切断

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ(延長)コード……………



- ・ 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎ(延長)コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1. 25mm ²	10m
2. mm ²	15m
3. 5 mm ²	30m

左の表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

作業前の準備

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警 告

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと、不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金(図1参照)を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引き、離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. のこ刃を取付ける……………

取付けは、「のこ刃の取付け方」の項をご参照ください。

4. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

のこ刃の取付け方



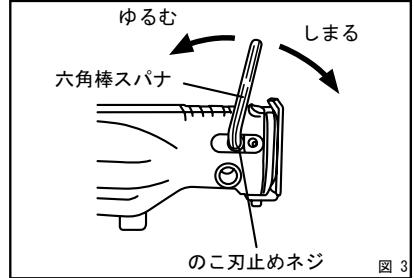
警 告

- ・ 万一の事故を防止するために、必ずスイッチは切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

のこ刃の取り付け方

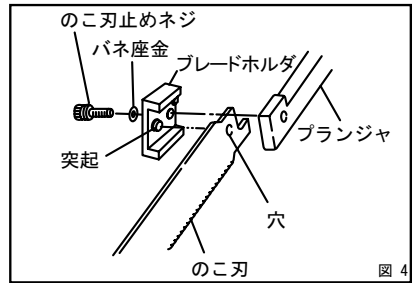
厚のこ刃を使用する場合

- (1) のこ刃止めネジを六角棒スパナで3～4回転し、ゆるめます。(図3)
- (2) のこ刃をプランジャとブレードホルダの間にさし込み、ブレードホルダの突起にのこ刃の穴を入れます。(のこ刃を手前に引張り、抜けてこないことを確認します。)(図4)
- (3) のこ刃止めネジを六角棒スパナで締付け、のこ刃を十分に固定します。



⚠ 注意

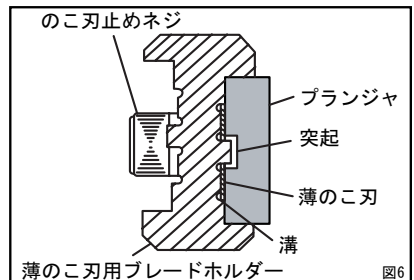
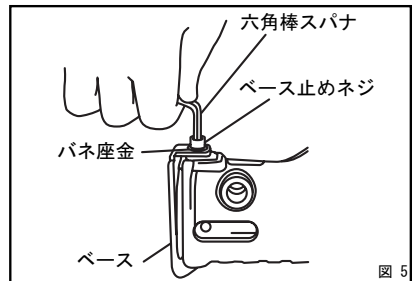
・ のこ刃止めネジがゆるむと、のこ刃が外れたり破損します。ケガの原因にもなるため、十分に締付けてください。また、切断前にゆるみがないことを確認してください。



薄のこ刃を使用する場合

薄のこ刃と薄のこ刃用ブレードホルダは別売部品です。販売店でお買い求めください。

- (1) ベース止めネジをゆるめて、ベースを取りはずし、厚のこ刃用ブレードホルダを取り出します。(図5)
- (2) 薄のこ刃用ブレードホルダをプランジャに取付けます。
- (3) ベースを元のようにベース止めネジでしっかり固定します。
- (4) 薄のこ刃の穴を薄のこ刃用ブレードホルダの突起に入れ、薄のこ刃を溝にはめ込みます。(図6)
- (5) のこ刃止めネジを六角棒スパナで締付け、のこ刃を十分に固定します。



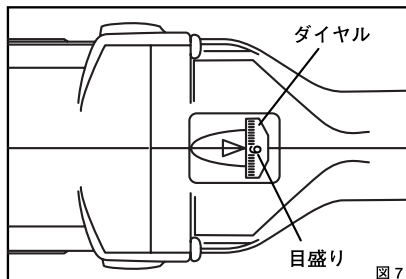
⚠ 注意

・ のこ刃止めネジがゆるむと、のこ刃が外れたり破損します。ケガの原因にもなるため、十分に締付けてください。また、切断前にゆるみがないことを確認してください。

のこ刃スピードの調整について

本機には、のこ刃のスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。

ダイヤルの目盛り“1”が最低速で、目盛り“6”が最高速です。軟鋼材には高速が適し、ステンレス材には低速“1”が適しておりますが、切断材料、作業条件に合ったスピードでご使用ください。（図7）



！ 注意

- ・ 低速（目盛り1～2程度）の状態では、鉄板2mmを超える厚さの材料は切断しないでください。モーターに無理がかかり、焼損の原因になります。
- ・ この機体には強力モーターを使用していますが、低速で長い時間連続して作業すると、モーターに無理がかかり、焼損の原因になります。とくに切断中ののこ刃が停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに切断できるように、のこ刃スピードを調整してください。
- ・ スピードを早くすると切り込み時の刃振れが発生しやすくなります。その場合はダイヤル目盛りをもう少し低速にセットしてください。

切り方

！ 警告

- ① ゼツエンカバー（図1参照）をはずさないでください。必ずゼツエンカバーの上から本体を保持してください。
- ② チェーンバイスを切り落とし側の加工物に取付けて切断しないでください。加工物と本体と一緒に落下します。
- ③ のこ刃を付けた状態で空運転（無負荷回転）は、絶対に行なわないでください。必ずのこ刃を切断材料に軽く当てた状態から運転を開始してください。
空運転すると、のこ刃が大きく振れて折れる場合があり、事故やけがの原因になります。
- ④ 能力以上の太いパイプは切断しないでください。のこ刃先端がパイプ内壁に当たって、のこ刃を折損する恐れがあります。
- ⑤ 切断時に無理な力を加えないでください。のこ刃を折損したり、のこ刃の寿命を早める原因になります。軽い力で切込んでください。
- ⑥ 加工物を固定しない状態で切断すると力が入らず、また不安定となります。

注

- ・ 作業時にはプランジャ部から切粉・土・砂・水分などが機体内部に入らないように注意して使用してください。切粉などがプランジャ部にたまるときには、その都度清掃しながら作業してください。
- ・ 厚のこ刃による鋼管などの切断は、作業の安定性および能力向上のため、チェーンバイスを_usingして_ください。



警告

- ・ のこ刃を加工物に当てないで無負荷運転すると、のこ刃が振れて折れ飛ぶ恐れがあり、大変危険です。必ずのこ刃を切断材料に軽く当てた状態からスイッチを入れてください。

1. チェーンバイスを使用しての切断………

- (1) 既設管など、固定されているもの以外の加工物は、万力等でしっかり固定します
- (2) チェーンをチェーンバイスのフックに確実に入れ、ハンドルをまわしてチェーンバイスを加工物にしっかり固定します。(図8)

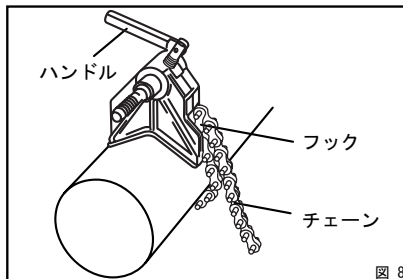


図 8

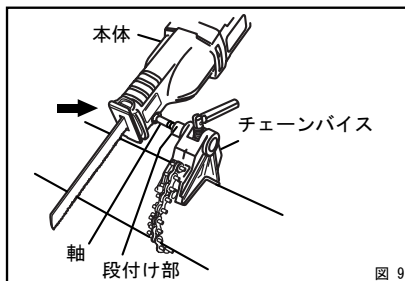


図 9

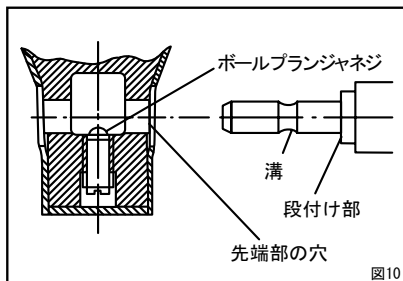


図10

- (3) 本体の先端部の穴をチェーンバイスの軸に合わせ、軸の段付け部に突き当たるまでさし込みます(図9、10)
- (4) 本体を引張ってみて軸の溝にボールプランジャネジの先端のボールが入ったことを確認してください
- (5) 加工物にのこ刃を当てた状態で、スイッチを入れ徐々に切り込んでいきます。のこ刃に力をかけすぎると刃の早期摩耗やモーター加熱の原因となりますので、無理に力をかけず軽い力で切断してください。(図11)
…ハンドル押付け目安…
・ 厚のこ刃…5kgf ・ 薄のこ刃…3kgf
切り込み時にのこ刃振れが大きい場合は、ダイヤルのスピード調整をもう少し低速にしてください

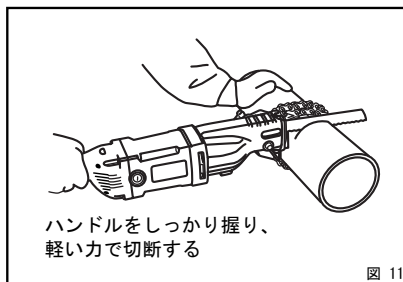


図 11

2. チェーンバイスなしで切断………

- (1) 加工物を万力等で確実に固定します。
- (2) ベースを加工物にしっかり押し当ててからスイッチを入れ、徐々に切込んでいきます。(図12)



注意

- ・ ベースを加工物にしっかり押し当てないで切断すると振動により、のこ刃を折損やそれによるケガの恐れがあります。

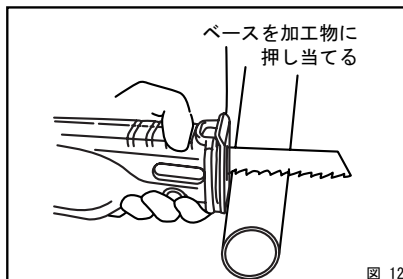


図 12

過負荷保護回路について

本機はモータ保護として、過負荷保護回路を内蔵しています。モーターが一定温度まで上昇すると自動的に電源を切り、焼損を防止します。

このときは直ちにスイッチを切り、温度が下がるまでしばらく切断作業を行わないでください。再度、スイッチを入れますと正常に運転できますが、モーターは加熱状態になっているのでごく軽い力でゆっくりと切断してください。

保守・点検



警告

- ・点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. のこ刃の点検……………

のこ刃の切れ味が悪くなったものをそのままご使用になっておきますと、モーターに無理をかけることになり、また、能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検……………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが磨耗限度(6mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

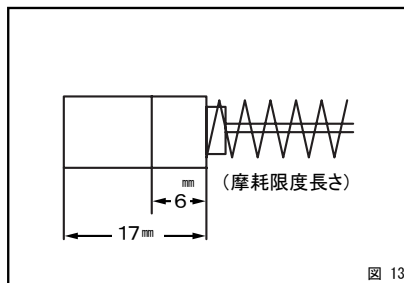


図 13

交換方法

カーボンブラシは、マイナスイグナイターなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取り出せます。

注

- ・カーボンブラシは必ず両方とも交換してください。
- ・カーボンブラシは必ず当社指定品を使用してください。

3. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと危険です。

4. モーター部の取扱いについて…………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

- 注** ・モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。
50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。

5. 表面とブランジャ部のよごれの清掃…………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は、かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

- 注** ・作業終了後、ブランジャ部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブランジャ部(図4参照)がさびついて機体内部の故障の原因になるので、必ず清掃して保管してください。

6. 製品や付属品の保管…………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらないで、下記のところにご用命ください。

- | | | | |
|------|---|--|---|
| 最寄りの | { | <ul style="list-style-type: none">レッキス製品取扱店レッキス工業営業所(裏表紙参考)レッキステクノサービスG 072-963-1960 | } |
|------|---|--|---|

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

メンテナンス部品の
保有期間について

本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。

保証・免責事項について

- ① 本機は正常な使用状態において万一故障した場合、下記により無償修理またはサービス部品を無償供給します。

記

- 無償修理保証期間はご購入後1年です。
 - 修理・サービス部品供給については、お客様との打合せにより日程・手順・方法等を決定対応します。
 - 無償修理保証期間をすぎた時は修理・サービス部品供給は全て有償になります。
 - (イ) 本取扱説明書通り取扱わない場合
 - (ロ) 用途以外に使用した場合
 - (ハ) 本取扱説明書通りに修理しなかった場合、また改造した場合
 - (ニ) 刃物または消耗部品の場合
 - (ホ) 非常に過酷な使い方をした場合
- ② 次の場合は当社は一切責任を負いません。
 - (イ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、および公害や異常電圧による不具合または事故
 - (ロ) 本取扱説明書通り取扱わない場合
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造を行なった場合
- ③ 本機に関して当社の費用負担が生じた時の負担額は、いかなる場合も本機のご購入価格以下とします。

REX

www.rexind.co.jp

レッキス工業株式会社

東京支店	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel.03(5393)6011
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.0729(65)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区第2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel.03(5393)6011
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.0729(65)9811
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒812-0882	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

4V770-J2

0912R 0300